

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-190	12-045	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
Impact of alcohol harm reduction strategies in community sports clubs: pilot evaluation of the Good Sports program. 地域スポーツクラブにおける飲酒による害を減らすための計画の効果: the Good Sports program の試験的評価		
執筆者		
Rowland B, Allen F, Toumbourou JW.		
掲載誌 (番号又は発行年月日)		
Health Psychol. 2012;31:323-33.		
キーワード		
スポーツクラブ、飲酒、飲酒の害、計画、飲酒率の低下		
要 旨		
目的: おおよそ 450 万人のオーストラリア人が地域のスポーツクラブに加入している。過度の飲酒はスポーツクラブの間では一般的になってきている。the Good Sports program が、地域スポーツクラブにおける有害な飲酒を減らすために計画された。本プログラムは飲酒の害を減らす計画の実行を奨励するための段階的認可プロセスを提示している。		
方法: 後介入採用研究により、the Good Sports program を介した地域スポーツクラブの認定が飲酒率の低下と関連しているかどうかを評価した。113 のクラブ、つまり 1968 人の参加者の飲酒率を調査し、一般住民と比較した。より進歩的な the Good Sports accreditation program (Stage Two)を受けたクラブ会員の方が進歩的ではない program (Stage One) を受けた会員よりも飲酒量を減らすことができるという仮説を立てた。		
結果: 多変量解析後も Stage Two のクラブ会員の方が Stage One のクラブ会員よりも 19% 飲酒量が低下していた。また the Good Sports program を行った時間の長さが、Australian short-term risky drinking guidelines を超過した週あたりの飲酒率の減少と関連していた。しかし、全てのクラブの飲酒率は一般住民と比較して依然高値であった。より高いステージ認可がクラブ会員による長期の危険な飲酒の減少を予測していた。		
結論: 本研究の結果から、一般住民と比較して地域スポーツクラブは高い飲酒水準と高い危険な飲酒率を呈していた。The Good Sports accreditation strategy を実行することが、これら会員における飲酒の減少と関連していた。		